

江戸川区において、阪神大震災の教訓を基に新しい鉄骨溶接方法の普及を求める
陳情

(建設委員会付託)

受理番号 第 5 2 号

受理年月日 平成 2 8 年 6 月 7 日

付託年月日 平成 2 8 年 6 月 1 4 日

陳 情 者
.

陳 情 原 文 一般的に阪神大震災の前までは鉄骨と鉄骨を溶接するときスカラップという穴を、溶接をする 1 番弱い箇所に開けていました。そのために阪神大震災では、スカラップの穴から横に亀裂が広がり、溶接部分から鉄骨にまで、広くヒビを広げてしまうことになり、問題となりました。

そこで、スカラップが無いもしくは少なくなる新しい溶接方法であるノンスカラップ工法の普及に江戸川区が真剣に取り組んでいただけるよう、下記のとおり陳情します。

記

- 1 区議会議員が、新しい溶接方法のノンスカラップ工法やノンスカラップ加工が理解できるような工夫をした工場視察を望みます。
- 2 連続地震で溶接部分にヒビが入る確率を減らすため、公共施設や非常階段の新設または改修に当たっては、ノンスカラップ工法の普及、推進を検討してください。
- 3 民間施設の非常階段においても、ノンスカラップ工法が増えるように官民で協力をしてください。